

「改元と皇室」

本年5月、平成から新たな元号へと変わります。近代以降の日本で、改元は天皇の在位という皇室の在り様と深くかかわりながら行われてきたことは言うまでもなく、それは同時に皇室の在り方が議論される契機でもありました。今回の改元を考えるヒントとして、大正から昭和への改元を取り上げ、なかでも女性雑誌を中心とした諸メディアにおける皇族の姿について、昭和天皇の後である香淳皇后の図像イメージを中心に検討したいと思います。

市民の皆様のご参加をお待ちしております。

日時 平成31年3月7日(木)

午後1時30分～午後3時(午後1時開場)

会場 足利大学 本城キャンパス本館1階 交流センター

講師 茂木謙之介(足利大学 講師)



講師紹介

1985年生まれ。2016年11月、東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。博士(学術)。現在、足利大学共通教育センター講師。専攻は近代日本のメディア、文学、宗教。著書に『表象としての皇族—メディアにみる地域社会の皇室像』(吉川弘文館、2017年)他。印度学宗教学会賞(2018年度)など受賞。

定員 : 50名(先着順)

参加希望の方は、足利大学法人本部(電話 0284-62-9981)へお電話でお申し込みください。 受付時間: 平日午前9時～午後5時

参加費 : 無 料

主催 : 足利大学 **後援** : 足利市、足利市教育委員会

足利大学教養講座のご紹介

「真理は人を自由にする」という考え方のもと、足利大学では高等教育機関の教養教育を広く市民の皆様にご提供することで、地域に貢献する知の拠点づくりを目指しています。人文科学、社会科学、自然科学、芸術など、リベラルアーツをテーマとして、月1回程度の講座開催を予定しています。皆様のご参加をお待ちしております。

問い合わせ先: 足利大学 法人本部 ☎0284(62)9981

学び舎のまちから未来を創る

誕生、足利大学